

履歴複雑時代の
iLe流ブリーチ特化メソッド

iLe BLEACH METHOD

VOL.2

複雑履歴からホワイトブリーチへ

写真：柳岡創平 イラスト：タムラカヨ



今回教えてくれるのは

酒井元樹

さかいもとぎ / 1984年2月4日生まれ。新潟県出身。長岡総合美容専門学校卒業後、都内4店舗・フリーランスを経て2020年に西村 涼氏とともにiLeを創業。つやつやのハイトーンに仕上げる技術に定評があり、セミナー講師として全国各地・また海外で引っ張りだこな存在。オンラインアカデミーでも人気授業として数多くの視聴者を集める。

MOTOKI
SAKAI

「ホワイトブリーチ」にしたいときの 酒井流アプローチ

19Lv以上まで色を抜く「ホワイトブリーチ」。さて、どうやって白にする？

< 3つのオキテ >

オキテ.3

見込まれるリスクは
すべて伝えよ！

「ダメージを度外視して1回の来店でホワイトにしてほしい」とオーダーされる場合も。その際、1回で仕上げるリスクを伝えるのはマストだ。

オキテ.2

髪のパワーを
見極めよ！

「残留ティントを削る負荷をかけるかどうかが」の見極めも必須。髪のパワーやカラーリングによるダメージの有無、見えない履歴を判断する力も求められる。

オキテ.1

とにかく
残留がキモ！

白にするにはなにより残留ティントを取り除かねばならない。色ごとに削る難易度も変わるのだから、しっかりと「見極め力」を身につける必要がある。

— CHECK —

残留×髪のパワーで判断しよう！



19Lv以上に仕上げるホワイトブリーチはじわじわと需要が高まっていますが、一歩間違えると断毛しかねない技術。必要なのは、残留ティントと髪のパワーの見極め。左図を参考に、アプローチを考えていきましょう。

残留の見極め×髪ので力で ブリーチアプローチが変わる！

残留を削るための薬剤アプローチ一覧。

おもな残留 ダメージ Lv	ヴァージン毛	黒系	緑系	黄系	赤系
1～3 ↓ 1回施術も 可能	青系パウダー ブリーチ 6%	青系パウダー ブリーチ 6%	青系パウダー ブリーチ 6%	青系パウダー ブリーチ 6%	青系パウダー ブリーチ 6%
4 ↓ 2回以上の 施術をオススメ	青系パウダー ブリーチ 4.5%	青系パウダー ブリーチ 4.5%	青系パウダー ブリーチ 4.5%	青系パウダー ブリーチ 4.5%	青系パウダー ブリーチ 4.5%
5 ↓ キケンなので 避ける	キケン	キケン	キケン	※黄系のみ、ダメージ 4.5Lvでも可能な場合も	キケン

- 基本的に、残留は「青系ブリーチ」でのアプローチが最も有効。ダメージレベルが低く、髪ので力が強い場合は1回（1日）の施術でホワイトまで持っていくことも可能だが、軟毛・細毛・ダメージレベルがある人やより良い質感を求めている人は2回以上に段階的に分けてレベルを上げていくのがベターだ。
- 部分的に残留が強い場合はオイルワークを使うのも手。しかし、初速[※]もダメージも上がりやすいので、ダメージレベル～3.5くらいまでの人にしか使えない。

髪ので力≒ダメージ Lv



ツヤがあり、バサつきはないが、少しざらつく部分がある。ドライ時には絡まることなくコーミングできる。

見た目にツヤはあるが、毛先にバサつきが見られる。ドライの時にたまに引っかかる。

ツヤが感じられず、乾燥しているように見える。ドライ時に毛先が引っかかる。ウェット時には柔らかくなる。

ツヤがなく、乾燥している。指通りが悪く、全体的に引っかかる。ウェット時に柔らかくなる。

バサついて広がっている。ドライ時に断毛してしまう。

※リフトアップするスピードの速さのこと。白系に比べ、青系ブリーチのほうが最初の速度が速い。

BEFORE



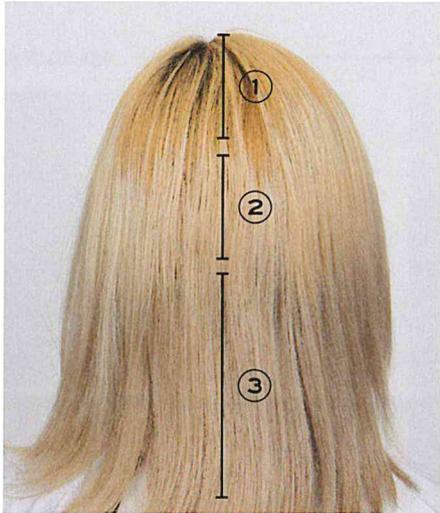
部分的に15レベル～17.5レベルが混在しているブリーチ毛。
細毛で軟毛。

AFTER



19レベルのパープル系ホワイトに。横にできていたムラが均一に仕上がりに、
全体的に透明感のある色味に仕上がった。

BEFORE



CHECK.1

全体的に3つの履歴があり、それぞれアンダーレベルとダメージレベルが異なる。①1カ月前のブリーチ履歴。②一番ダメージしているミドルセクション。白く抜けている。③アンダーセクションはカラーバターの残留があり、沈んでいる状態。



履歴チェック

(カウンセリングと目視)

- 新生部は8mm
- 1カ月前にブリーチ履歴あり
- 表面の中間部分が白っぽく褪色している
- 中間～毛先にカラーバターの残留あり



酒井さんの見立て

部分的にダメージはあるものの、ブリーチの使い分けで1日の施術でホワイトブリーチまで持っていけそう。



CHECK.2

内側の黒くムラになった部分は新生部ではなく黒い染料の塗布ムラ。しかも平行ではなく不ぞろいに入っている。

まずは横ムラをなんとかしないですね(汗)



PROCESS

1st BLEACH



毛先は、クリア剤と青系6%のブリーチを同時に使用。ここまでの塗布時間は30分が目安。この後、20分放置。



次に、中間の白い部分をオンベースで5mm スライス（内側が透けるくらいが目安）でとり、中間部まで青系6%のブリーチを塗布。先ほど塗布した根元とつなげるため、リフトのスピードが早い6%を使用。ここまでの大体15分。



ホワイトブリーチは塗布に繊細さが求められる。粘性がやや高めめの青系ブリーチ4.5%（2倍）を根元にポンポンと置いていくように塗布。根元の新生部全てを先に塗布する。モデルが細毛だったためオキシは4.5%で様子見。

ON COLOR



オンカラーは10レベルのパープル系の薬剤をクリア剤で希釈し、根元→毛先→中間の順番に塗布。発色スピードを計算し、ムラが出ないためのテクニックだ。



ブリーチとクリア剤を同時に使用することでpH値を下げ、白系3%のブリーチで「追いブリーチ」を行う。この追いブリーチでより均一になるように仕上げる。

2nd BLEACH



水洗後、この後は白系4.5%のブリーチで残留の強い部分のみにアプローチ。2cmで残留の強い部分を拾い、特に根元付近に残っていたムラを均一に整える。

RECIPE

ON COLOR



[オンカラー]
10Lv パープル系 : クリア = 1 : 10%
(OX 3% 2倍)

酒井's MEMO

ブリーチは初速と膨潤の
度合いによって使い分け！

1回目のブリーチと2回目のブリーチで
使い分けましたが、それぞれに①全体的
に残留をなませる②初回でムラが残っ
たところに最低限のパワーでムラを取り
除く という目的。最小限のアプローチ
でムラを整えていくことがキモ！

2nd BLEACH



[全頭]
白系パウダーブリーチ (OX 4.5% 2倍)

[追いブリーチ]
クリア割を塗布後、白系パウダーブリーチ
(OX 3% 2倍)

なぜ1回目と使い分けるの？

1回目の青系ブリーチに対し白系に変えたのは、
白系のほうが膨潤しづらく、均一な仕上がりに
なりやすいため。

1st BLEACH



[根元ブリーチ]
青系パウダーブリーチ (OX 4.5% 2倍)

[中間ブリーチ]
青系パウダーブリーチ (OX 6% 2倍)

なぜオキシを使い分けるの？

根元と中間～毛先では塗布から経過している時間が
異なるため。最初に4.5%でじっくりと上げ、後か
ら6%のパワーで反応のスピードを上げる。



AFTER



AFTER BLEACH



BEFORE





